

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年6月9日

施設名	高知県立人権啓発センター	所管課名	政策企画部人権課
-----	--------------	------	----------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県人権啓発センター	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
施設所在地	高知市本町4-1-37		
事業内容	1.施設利用に関する業務 ・施設利用の許可等 ・施設利用の許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (施設:ホール、視聴覚室、図書資料室兼閲覧室) 2.ホール使用料の徴収に関する業務 3.施設および設備の維持・管理 清掃、警備、電気、設備の保守点検等		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 面積:丸ノ内ビル(3,453,4㎡)内4F～6F(1,443,81㎡) 施設:4F 視聴覚室(定員48人)(利用前日までに申請) 5F 図書資料室兼閲覧室 6F ホール(定員270名)(利用10日前までに申請) 開館時間:9:00～17:00 休館日:土、日、祝祭日及び年末年始		
職員体制	常勤職員:8人 非常勤職員:5人 臨時職員:1人 合計:14人 「職員数は19年4月1日現在」		

## 2 収支の状況

単位:千円

		18年度(決算)	19年度(決算)	20年度(予算)
収入	県支出金	10,624	10,426	11,680
	使用料・手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	収入計 (a)	10,624	10,426	11,680
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	10,313	10,115	11,369
	人件費	311	311	311
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	10,624	10,426	11,680

### 3 利用状況

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	23,256	20,065	21,000
②利用者意見等の反映	<p>○平成19年7月5日より利用者アンケートを開始。 ○下記に示す利用者等からの口頭での要望を業務日誌に記録、適宜対応、改善している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身障者用トイレ使用者からトイレのドアの鍵改善の要求。</li> <li>・車いすの方から地下駐車場で側溝に車輪がはまる。</li> <li>・地下駐車場に向かうスロープ部分の継続点灯依頼。</li> <li>・ホール内やトイレでの軽微な修理依頼3件。</li> </ul>		

### 4 平成19年度業務評価

項目	状況説明												
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定書に基づき適正に管理運営されている。</li> <li>・災害発生に備えて、平成9年に作成された消防計画の見直し、変更を実施、高知市中消防署にも届けられている。</li> <li>・県の実施するアスベスト調査において協力的な対応がみられた。</li> <li>・危機管理については、地震発生を想定し、ガラス張りのライブラリーのガラスについて、飛散防止のためビニールフィルムを貼り付けた。</li> <li>・個人情報の保護については、(財)高知県人権啓発センター個人情報保護要綱等を設けるとともに、これに基づき適正に執行している。</li> <li>・再生紙購入等「高知県グリーン購入基本方針」に基づく環境物品購入を実施している。</li> </ul>												
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブラリーにおけるビデオ、DVD等視聴覚教材貸出・返却用紙の裏面に、利用に際してのアンケートを追加、利用者の声を聞き取りに努めている。</li> <li>・洋式トイレ(ウォッシュレット付)が各階に設置していることの内やメタボリック予防のポスターを各階に掲示した。</li> <li>・平成18年度からAEDを設置、施設利用者に設置場所をわかりやすく表示する工夫を行った。</li> </ul>												
③利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成18年度 利用人員(利用回数)</th> <th>平成19年度 利用人員(利用回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6Fホール</td> <td>22,327人(153回)</td> <td>19,194人(142回)</td> </tr> <tr> <td>視聴覚室</td> <td>737人(34回)</td> <td>607人(25回)</td> </tr> <tr> <td>ライブラリー</td> <td>192人</td> <td>264人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・6Fホール、視聴覚室の利用者はほぼ固定されており、今年はそのホール利用減によるもの。</p>		平成18年度 利用人員(利用回数)	平成19年度 利用人員(利用回数)	6Fホール	22,327人(153回)	19,194人(142回)	視聴覚室	737人(34回)	607人(25回)	ライブラリー	192人	264人
	平成18年度 利用人員(利用回数)	平成19年度 利用人員(利用回数)											
6Fホール	22,327人(153回)	19,194人(142回)											
視聴覚室	737人(34回)	607人(25回)											
ライブラリー	192人	264人											
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品の節約、電話の効果的利用により昨年に比し、198千円の経費削減となっている。</li> <li>・施設使用料について145千円の減収となっている。(ホール使用料:平成18年度2,654千円、平成19年度2,509千円)</li> </ul>												
総合評価	<p><b>B</b></p> <p>指定管理者制度導入後、昨年よりさらに経費削減されている。ホール使用、視聴覚室利用者は昨年より減少したが、ライブラリー利用者は増加となっている。利用者の意見を反映するためのアンケート等の体制の整備や要望に対する迅速な対応、改善もみられることから、おおむね仕様書の内容どおりに適正な管理がおこなわれた。今後、6Fホールや視聴覚室の県民への周知、新たな顧客確保、利用促進に期待する。</p>												

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの